



News Letter



第2号

大阪日米協会/JAPAN-AMERICA SOCIETY OF OSAKA

〒540-8508 大阪市中央区森之宮中央1-6-20(株)サクラクレパス内 Tel:06-6910-5595, Fax:06-6910-8837
http://www.jaso-1946.com E-mail:jaso@craypas.co.jp

Jazz in KOBE

神戸北野町、異人館が立ち並ぶ界隈にある「神戸外国倶楽部」をバート副会長に紹介いただき、9月10日(金)「Jazz in KOBE」と題してJAZZ演奏会を開催しました。神戸外国倶楽部特製のフランス料理に舌鼓を打ち、映画監督槌橋雅啓氏がアメリカで体験されたJazzにまつわるお話を聞いた後、関西ジャズ協会会長大塚善章氏(ピアノ)、同副会長宮本直介氏(ベース)、事務局長澤崎至氏(ドラム)のトリオに、アメリカで出演経験のある溝口恵美子氏のボーカルなど、秋の夜長、素晴らしいJazz演奏に酔いしれました。



映画監督
槌橋 雅啓氏

槌橋氏講演要旨

アメリカで生まれた数多くの娯楽の中でも、ジャズは世界中で多くの人を楽しんでいる「アメリカを代表する音楽＝文化」です。ジャズを聴いて学んでからニューヨークへ留学した私は、「Take the A Train」の名曲で知られるハーレムを通過する地下鉄に乗り、「ジャズの名曲によって、アメリカが一層良くなる」ことを実感しました。また、ロンドンの空港でデイベッカーの怪しいヒッピー風の私に、非常に厳しく審査していた入国係官が、私の手帳にBE BOP(モダンジャズの伝統的なスタイル)の曲名が列記してあるのを見つけ、「お前はジャズミュージシャンか、俺はBE BOPが大好きだ、おまえは入国OKだ、荷物も俺が運んでやる」とそれまでの態度を一変させ、その変化ぶりに「アメリカを越えて、ジャズは世界言語になっている」ことを痛感しました。日本人がアメリカをより良く知り、さらに「世界市民」として海外で活躍する上で、ジャズは非常に有効なツールであることを理解いただけたと思います。



参加された会員の声



山縣 平蔵
(豊中市)

トアロードの突き当りの、神戸外国倶楽部は雨に濡れて静かに佇んでいた。アプローチからエントランスまで年輪を感じさせる素晴らしい雰囲気が出されていて、ここで、ジャズが楽しめるのかと

思うと期待感が胸が一杯になりました。槌橋先生は、お話の中で「ジャズはアメリカが生んだ最高の文化」と言われたが、まさに同感。プレイヤーの皆様は私と同世代であつたので、恐らく同じ頃に大阪、京都、神戸辺りでジャズを楽しんだ事と思います。演奏された曲は、古い、有名なヒットナンバーばかりで、時間が瞬間に過ぎ去って、素晴らしい思い出と共に家路につきました。



堀 友子
(神戸市)

日米文化交流の一環としての「ルーツを訪ねて」、7月のSoulfulなアメリカのジャズに引き続き、9月は日本のジャズ発祥の地、神戸でのSwingなジャズの夕べでした。会場の外国倶楽部の美味しいお料理と和やかな会話は、お洒落なKOBEにピッタリ、素敵なお話を満喫しました。毎年10月に開催される神戸ジャズ・ストリートを先き取りした気分が幸せでした。会の行事はどれも魅力あるものばかりで、知的好奇心を大いに満足させてくれ、カルチャーに通っていると錯覚してしまうほど多方面にわたっています。講演会あり、春秋の遠足や観劇等とお知らせが届くのが楽しみです。これらが会員同士の語らい、文化交流の原点になっているのですね。



西堀 恵以子
(尼崎市)

異人館で有名な北野の一角にある神戸外国倶楽部にて開催された「ジャズインコウベ」。ワイン、ビールで乾杯、と同時に運ばれてきたお料理を両サイドのご夫妻と「これは何でつくられたのかしら？パンは？スープは？お料理は・・・？」と、楽しく談笑しながら、私の口の中は美味しさに満ち溢れました。槌橋監督のお話とジャズ演奏は、私をニューヨークの街へいざなってくれました。地下鉄の車内、小劇場での繊細な音色のピアノ、たくましいベース、ビートのきいたドラム、パンチのあるボーカルにあわせて、老若男女が手拍子を取りながら身体を振っている。まさに「I'm in New York」。アンコール曲も終わり、パーティの余韻に浸りながら帰路につきました。感謝。

スケジュール

2004年 11月26日(金)

第44回昼食講演会

講師 大阪府知事 太田房江氏
場所 ヒルトンホテル
時間 12:00~14:00

太田知事の見たアメリカ、アメリカに対する思い。アメリカ留学体験話などを通してお話をお伺いします。



2005年 1月21日(金)

新年パーティ(リーガロイヤルホテル)

3月11日(金)

能楽ワークショップ(大阪天満)

4月9日(土)

春の遠足(京都)

4月26日(火)

米国空軍太平洋音楽隊 Jazz演奏会(大阪国際会議場)

大阪府より

去る6月、太田大阪府知事が友好交流先であるカリフォルニア州等を訪問しました。当地では、サンフランシスコで行われた世界最大のバイオ産業見本市「BIO2004」でプロモーションを行なったほか、NWカーゴを訪問して関西国際空港のプロモーションを行いました。訪問中、米国内での空港のセキュリティチェック体制の厳しさには驚きました。また、思いがけず滞在中に故ロナルド・レーガン元大統領の訃報に接し、太田知事も元大統領の世界平和の貢献に対し、感謝の意を表す記帳をしました。世界の中で最も重要な2国間関係といわれる日本と米国の関係を維持・発展していくため、今後とも力を注いでいきたいと思ひます。



会員便り



大賀 正也
(三田市)

私が大阪日米協会に入らせて頂いたのは、1977年頃松浦陸軍補にエンソウズ米国大阪総領事を紹介されたのがきっかけで、大学教授の様な雰囲気では様々な米国の事を詳しく教えて頂きました。様々な会合で色々な立場のアメリカ人が私の拙い古いK.イングリッシュに米語日本語を交えて、私が理解できる迄皆さん、熱心に説明してくださいました。お陰でアメリカ通に成りました。米国で活躍するイチローが大リーグ記録に挑戦する敵地のボストンのファンも全員で応援していました。5打席目にレッドソックスの投手が4球を出すと、ボストンのファン全員がブーイングをしました。私はこのシーンを見て、1966年頃日本で同じ場面があった事を思い出しました。打者は阪急のデリースペンサー、彼も大きな記録がかかっていました。投手は、ランナーが一人もないのにストレート4球。スペンサーは次の打席で抗議のためにバットを逆さまに持ち、一振りもしませんでした。その後、彼は「もういいんだよ、済んだ事だから」「ファンはゲームを見に来ているのだから真剣にプレイを見せなければ」と言いました。私は恥ずかしく思いながら、ますますアメリカ人が好きになりました。友達のアメリカー人との間で、今も良い友情が続いております。



都竹 素子
(大阪市)

今年5月に入会させて頂きました都竹(つづく)と申します。急に仕事でハワイに行くことが決まり、間際でしたが、断られるのを覚悟でJASHへ母との出席をお願い致しました。にもかかわらず、即温かいお返事をくださった会長のMr.Okawa, Mr.Quizonに深く感謝申し上げます。会場はThe First Hawaiian Bank最上階で、海、山、街が美しく見渡せるゆったりとしたBank専用レストランでした。100名ほどの方が出席されており、緊張致しておりました私に話しかけてくださり、ハワイの事情、お仕事のお話など2時間がとても短く感じるほど有意義に感じられました。私は先輩方のお話をお聞きするのが大好きです。今回はより多くの方々とお話しでき、また笑い所で機を逸せずに笑えるように英語を磨いて参りたいと思っております。皆様への感謝の気持ちに代え、ハワイを始めアメリカから日本にお越しの方々にも少しでもお役に立てればと思っております。ありがとうございます。



JAS of HAWAIIに出席させていただいて

今年5月に入会させて頂きました都竹(つづく)と申します。急に仕事でハワイに行くことが決まり、間際でしたが、断られるのを覚悟でJASHへ母との出席をお願い致しました。にもかかわらず、即温かいお返事をくださった会長のMr.Okawa, Mr.Quizonに深く感謝申し上げます。会場はThe First Hawaiian Bank最上階で、海、山、街が美しく見渡せるゆったりとしたBank専用レストランでした。100名ほどの方が出席されており、緊張致しておりました私に話しかけてくださり、ハワイの事情、お仕事のお話など2時間がとても短く感じるほど有意義に感じられました。私は先輩方のお話をお聞きするのが大好きです。今回はより多くの方々とお話しでき、また笑い所で機を逸せずに笑えるように英語を磨いて参りたいと思っております。皆様への感謝の気持ちに代え、ハワイを始めアメリカから日本にお越しの方々にも少しでもお役に立てればと思っております。ありがとうございます。

在日米商工会議所(ACCJ)

ACCJは創設以来55年間、多くのビジネス界の方々に人脈作りの機会や、日本でのビジネスの成功に欠かせない生きた情報を提供し続けています。

■ネットワークの力

米国をはじめとする40数カ国1,400社ものグローバルな視野を持つ企業から3,200名のビジネスパーソンたちが集まるACCJは、年間500を超えるイベント、講演会、ネットワークイベント、各委員会の会合を開催しています。また、70以上ある業界別の委員会は、最新情報やビジネス戦略上に有効な情報交換の場を提供しています。

■情報源としてのACCJ

ACCJでは、米国を始めとして、欧州や日本の著名な方々を講師として迎えて講演会を開催しています。国際的に活躍するビジネス・リーダーや、各業界・分野のトップ、日米の著名な政府高官やジャパン・スペシャリストの方々の話を直に聞くことが出来ます。

■ACCJの影響

ACCJの委員会は、業界や職業グループを網羅しており、人事管理、マーケティング、ヘルスケア、eビジネス、法務サービスなどの委員会があります。委員会の積極的な提言により、日本のビジネス情勢にも影響を与え、日米経済交流促進にも少なからず貢献しています。

連絡先
TEL:06-6944-5991
E-mail:kansai@accj.or.jp (吉富氏)



短歌集『春夏秋冬～あなたが大好き～』

「みなさん、心の春夏秋冬についてお考えになった事がありでしょうか？文字通りの春夏秋冬もあれば、少し寒い春、雨の多い夏、寒すぎる秋、思ったよりもおだやかな冬、人生もあたりまえの四季とは異なった心の春夏秋冬を体験なさることでしょう。」『春夏秋冬』前書きより
この歌集は30代半ばにほとんど視力を失った作者が、日記代わりに何首かずつ作っていたものの中から選んだものです。目で見えた時のもの、心で見た時のもの、手で触れた時のもの...。どうかみなさんも目で見、手で触れ、心で感じとってみてください。短歌の知識が無くても楽しめる不思議な辻ワールド！是非みなさんも味わってみてください！

短歌集より

- ・人はみな小さなほこり胸に秘めこの道渡るすずらんの花
- ・桜さくらふくらむ蕾はすむ音聞こえるような聞こえぬような
- ・さよならと教子送る石畳みぞれば降る宵の山茶花
- ・花りんごとてもきれいと言う母の消える声に春暮れてゆく
- ・あおおと若葉芽をふけ子供らの命のかがり春ほがらかに
- ・青空を大海原をか翔けりゆ神なき世界のるり揚羽蝶
- ・君が来る花束一つ抱きしめてマイファンタジー遠き国より



詳しくはHPをご覧ください。 http://www.geocities.jp/yy_poko/syunkasyuto.htm

会長のひとりごと

6月以降「アメリカ文化をジャズを中心とした行事で紹介していく」という主旨で行事を開催してきました。逢う人毎に「西村さんはジャズが大好きなんですね」と言われます。しかし、実はジャズと言うより音楽そのものが良く分からない。メロディ、リズム共に良く聞き分けられません。(これはどうも生まれつきのようです。)ただ、最初に買ったもらったレコード、ビーナッツ・ハッコーの「小さな花」のクラリネットの音は、今でも頭の中で良く鳴り響いています。歌うことはできませんが...。それ以降、オールディーズと言われていたアメリカンポップスから音楽に親しむようになりました。今カーオーディオには演歌からクラシックまでジャンルを問わず、あらゆる種類のCDが入っています。その中で最近一番しっくりくるのは、日本の心と言われる「演歌」です。年なんでしょうか？



展覧会のご案内

会員のブライアン・ウィリアムさんが展覧をされますので、ご案内いたします。日本在住30年余り、日本の原風景を描いた作品に海外取材作品を加えての展覧会です。

ブライアンの目 - 足元から世界まで
ブライアン・ウィリアム展<洋画>

なんば高島屋 6階美術画廊 11月10日(水)~11月16日(火)



◆新入会員紹介◆

法人会員

株式会社ミズノ
取締役副社長 水野 明人

個人会員

下田 宏 西宮市
今田 靖子 茨木市
畑中 千代美 豊中市
石山 勝政 西宮市

家族会員

下田 恵美子 西宮市
岸田 登茂子 西宮市

投稿規定

大阪日米協会の会報誌への投稿(寄稿を含む)規定は次の通りです。

1. 投稿の原稿は日本語と英語をお願いします。
2. 投稿頂いた原稿は返却しません。但し写真やイラストはご指示に従い返却致します。
3. 投稿された原稿の選択と原稿の短縮や修正は大阪日米協会の判断にお任せ下さい。
4. 投稿される原稿は社会的・文化的・芸術的・国際的ななど、本会の目的に適う内容をお願いします。
5. 投稿者の中から抽選で粗品を差し上げます。発送をもって、発表に代えさせていただきます。

編集後記
(Notes)

会報誌はなんと言っても、皆さん会員の寄稿と投稿によるご協力があってこそ、制作・編集が可能です。今回は1977年頃に会員となられた大賀さんの記事は、アメリカ人のフェア精神に触れた事がきっかけだった事を示しています。筆者は妻がアルバイトで歌っていた梅村の朝日ピアホールで、大賀さんに会ったのが初めてです。これも古くは1970年代半ばでした。その時の妻の歌を聞きたい、と大賀さんからせがまれています。日米協会での再会は驚きでした。(NG)



News Letter



Vol.2

大阪日米協会 / JAPAN-AMERICA SOCIETY OF OSAKA

1-6-20, Morinomiya Chuo, Chuo-ku, Osaka 540-8508, Japan ☎ SAKURA COLOR PRODUCTS CORP. Tel:06-6910-5595, Fax:06-6910-8837
http://www.jaso-1946.com E-mail:jaso@craypas.co.jp

Jazz in Kobe

On the advice and support from Mr. Julian F. Burt, Vice President of JASO and a member of Kobe Club in Kitano-Cho, JASO held "Jazz in Kobe" on the evening of September 10th, Friday. In the neighborhood area, you can find many old and famous foreigners' mansions. First, everyone enjoyed French cuisine prepared made for JASO by Kobe Club. After the speech by Mr. Masahiro Tsuchihashi, Film Director, about his experience of Jazz in America, Otsuka Zensho Trio, composed by Mr. Zensho Ohtsuka (Piano), President of Kansai Jazz Society, Mr. Naosuke Miyamoto (Bass), Vice President and Mr. Itaru Sawasaki (Drum), Secretary General, played variety of Jazz music, with Ms. Emiko Mizoguchi who has experience singing in America, added the wonderful vocal performance with the trio.



Masahiro
Tsuchihashi
(Movie Director)

Speech of Mr. Tsuchihashi

Among many entertainments born in America, Jazz is one of typical entertainments – music, i.e., culture in America. After having listened and studied Jazz, I went to New York to study; I took Subway, which is passing through Harem, from that I realized that we can get understand America better from famous Jazz music. The other experience was at the London Airport. Looking at me like dressed like hippie with a day pack, inspector at immigration office was very strict, but as soon as he found the numbers of "Be Bop" noted in my diary, he changed his behavior completely and

asked me "Are you Jazz Musician? I like Be Bop very much. No problem of entering this country. I will carry your baggage for you." From his behavior, I realized keenly that Jazz became the world language and transcended America. Japanese who wants to understand the United States of America and be active in the world, Jazz is one of the important and effective tools now.



Impression



Heizo
Yamagata
(Toyonaka)

Kobe Club was getting wet and quietly standing at the end of Toa Road. My heart was full of deep emotion with the expectation of enjoying Jazz, in the wonderful atmosphere of bringing an annual ring of Approach to

Entrance of the Club. Mr. Tsuchihashi, in his speech, said that the Jazz is the highest culture of United States of America, to which I perfectly agree. I realized we all belong to the same generation, so that they have been enjoying Jazz in the area of Osaka, Kyoto and Kobe, most probably at the same time. As the played program were old and famous numbers, time passed in a flash. I could head for home with full of wonderful memory.



Tomoko
Hori
(Kobe)

A part of cultural interchange between the people of Japan and the United States of America, JASO organized "to explore the roots of Japan" and soulful Jazz in Art Museum in July, they did perform swing Jazz evening in Kobe, where Jazz originated. The delicious meal prepared by Kobe Club and enjoyable conversation fit

perfectly in smart place like Kobe. I was enjoying the superb atmosphere to the full. I had such feeling that JASO event took the Jazz Street before Kobe organizes in October. All the events JASO is organizing are fascinating and gratifying my intellectual curiosity. My feeling is that events are so wide-ranging, that I am participating culture center. They make offers of excursion in autumn and spring, theater party, etc., that I am looking forward to receive every time. The starting point is, however, our pleasant chat with members and exchanges the cultures.



Eiko Nishiboi
(Amagasaki)

Beginning September, I took part of JASO event, "Jazz in Kobe" at Kobe Club locating in a corner of Kitano Area, where you can find many sort of old foreigners' buildings. Two couples sitting both sides proposed a toast to us raising wine and beer. At the same time, we had a pleasant chat about how the meals

were cooked, about bread, soup and dishes in a relaxed mood. As the result, My mouth was filled with delicious meals. Mr. Tsuchihashi, Film Director and Otsuka Zensho Trio invited us to the city of New York. Subway in NY, delicate tone of Piano in a small playhouse, robust and strong bass, drums with powerful beat and vocal with punch. Everyone swayed to the music, by beating their hands. My feeling was exactly "I'm in New York". Finishing encore, I left home, being immersed in the enjoyable evening. Thanks.

Upcoming Events

2004 Nov. 26,

No. 44 Luncheon Seminar

From 12:00 to 14:00

Speaker: Ms. Fusae Ohta,
Governor of Osaka

Ms. Ohta will speak about her
feeling of America and her
experience staying in America.



2005 Jan. 21

New Year's Reception (Rihga Royal Hotel)

Mar.11

Noh-gaku Workshop (Osaka)

Apr.9

Spring Day Trip to Kyoto

Apr. 26

Jazz Session (Osaka International Convention Center)
Big Band by the United States Air Force of the Pacific-Asia

Osaka Governor Visits US

In June 2004, Governor Fusae Ohta of Osaka visited California, the partner state of the Prefecture-State cooperation agreement, and other states. The governor led the "Osaka promotion" efforts at the BIO 2004 held in San Francisco, and the "KIX (Kansai International Airport) promotion" at the Northwest Cargo head office. She experienced the astonishingly strict security procedures imposed in American airports. In California, hearing the news of the passing of former President Ronald Reagan, Governor Ohta signed the book of condolences with the words of gratitude for his enormous contributions to world peace. The Prefecture of Osaka continues efforts to maintain and further develop the Japan-US relationship, the most important bilateral relationship in the world.



About the ACCJ

Established in 1948 by representatives of 40 American firms, the American Chamber of Commerce in Japan (ACCJ) has offices in Tokyo, Osaka, and Nagoya, and represents nearly 3,200 individual members from more than 1,400 companies and over forty countries. The primary goals of the ACCJ are to help members expand their networks, promote their business interests through focused advocacy efforts, and provide them with timely and accurate information on the Japanese business environment. These activities include working to develop commerce between the United States and Japan and supporting measures to benefit and protect the interests of member companies in Japan. Now in its fifty-sixth year, the ACCJ is Japan's most influential international foreign business organization. The ACCJ serves as the primary forum for the foreign business community in Japan to identify and pursue its common interests and goals. More than seventy Chamber committees and subcommittees cover areas as diverse as financial services, living in Japan, marketing, healthcare services, e-business, transportation and logistics, legal services, the travel industry, and human resource management. Each committee meets regularly to discuss issues and exchange ideas and information on topics relevant to its industry or profession. ACCJ committees also hold over five hundred meetings, events, and seminars annually, including hundreds of speaker programs on policy and business trends in Japan. These programs regularly feature world-class speakers drawn from the ranks of global business leaders, top U.S. and Japanese government officials, industry experts, and scholars. Movers and shakers such as AIG Inc. Chairman and CEO Maurice Greenberg, Kikkoman President & CEO Yuzaburo Mogi, Nissan President and CEO Carlos Ghosn, U.S. Secretary of Commerce Donald Evans, Deputy Chief Cabinet Secretary Shinzo Abe, Virgin's Sir Richard Branson, architect Tadao Ando, IBM and KeizaiDopyukai Chairman Kakutaro Kitashiro, Nobel Prize winner Dr. Lee Hartwell, former yokozuna Akebono, and many others have chosen the ACCJ as their forum for addressing Japan's international business community. Selected programs are also webcast online through a strategic partnership with ITV Japan; a link to the webcast page is provided on the front page of the ACCJ public website, HYPERLINK "http://www.accj.or.jp" www.accj.or.jp The ACCJ advances member interests through annual visits with key legislators in the U.S. Congress and the Diet during its Washington, D.C. and Diet Doorknocks. The Chamber also maintains close ties with major Japanese business organizations including the Japan Chamber of Commerce and Industry, the Japan Business Federation, and Keizai Doyukai as well as U.S.-based organizations such as the U.S.-Japan Business Council and the U.S. Chamber of Commerce. The Chamber has a long-term working relationship with the U.S. Embassy, regularly exchanging information with American diplomats on issues of common interest and receiving Embassy briefings. The Chamber office provides useful business services as well, including conferencing facilities and videoconferencing services at the ACCJ Tokyo office and a sophisticated online job posting and resume information service called Employment Central(www.eccentral.jp) There are also many opportunities for members and member companies to promote their businesses to both other Chamber members and those outside the ACCJ.

Contact Tel:06-6944-5991 Email:kansai@accj.or.jp (Mr. Yoshitomi)



Member's Column



Motoko Tsuzuku
(Osaka)

Participation in the JASH Evening Event (Japan America Society of Hawaii)

I am pleased to introduce myself. My name is Motoko Tsuzuku. I became a member of JASO since May, this year. Recently on my urgent business, I had to visit Hawaii with my mother and taking this opportunity we requested to attend JASH evening event just before the event. In spite of our sudden request, Mr. Okawa who is the president of JASH and Mr. Quizon kindly agreed us to join. The event hall was the exclusive restaurant at the top floor of The First Hawaiian Bank, from where we could have a fine night view of the sea, mountains and shipping area. There were 100 participants and

they started to speak to us, while we were so nervous. I could enjoy talking about my job and things in Hawaii. We could spend enjoyable and useful 2 hours. I love to listen to the people of experience. From next time, I had such feeling that I have to improve my English, so that I could laugh just right time. I would like to try to better myself in order to become useful for the Japanese people in future. This is the message of expressing thanks to JASH.



Toshihiro Tsuji
(Izumi)

It is a wonder and a touching poetry world. I would like to present "Tanka" poems together with pretty flowers. They are Japanese short poems of 31 syllables, which have been recited without any captured thoughts and without sticking to anything. "All the people, keeping a small pride secretly in their mind, walking through their life path with the lilies of the valley in bloom." "Apple blossom's prettiness, with mother's admiring whisper, this spring is getting over" This poetry consists of the selected poems which the poet has been writing with a pace of several poems a day instead of his diary. Namely, there are some poems what he felt at the time he saw a certain scenes with his eyes, at the time he saw something in his mind's eye, or at the time he touched by his hands, and so on. Would you, readers, please try to see it with your "Cherry, Cherry blossoms, growing buds and their springing sounds, it seems faintly audible or barely audible." "Sprout the new buds with green and young leaves, and spring becomes cheerful as long as those children are alive." It is a Tsuji's marvelous world which can be enjoyable without any knowledge of "Tanka" poems. I hope you can taste them by all means. "You are coming, holding a bouquet in hands, from a far country which is my fantasy."

Fixed Price ¥800 (book price ¥762) Inquiry: Ms Yuka Sakon Tel: 0725-44-7922



Masaya Ohga
(Sanda)

An American whom I got to know after the war

The start of becoming a member of Japan America Society of Osaka was when Mr. Matsuura, Officer of the Self-Defense Force introduced Mr. Ensowards, American Consul General to me. He talked about America on that occasion, creating the atmosphere of university professor. After that I was appointed as the member of JASO. Through various events, different American people talked to me until I understood, while I have been speaking poor and old Kings English, including American English and Japanese. Thus I could be knowledgeable about America. One day when I was watching the baseball ball match

between Seattle Mariners and Boston Red Sox at Stadium in Boston. Ichiro has been attempting to set the record of Major League and both fans were supporting his challenge. However, at his fifth at bat, the Red Sox pitcher gave him an intentional walk. It was, however, the surprise for me that all the fans of Boston were booing to the pitcher. Seeing the scene, I remembered the similar scene in Japan. Mr. Daily Spencer, player of Hankyu Braves was just to break the record. However, the pitcher of the other team walks him on four straight balls, although there was no runner on base. Making the protest against the pitcher at his next batter's box, he held a bat by the wrong end and didn't swing his bat. Laughing the other team, he said "No problem for me, as the matter is over now". He added, however "They had to be player were requested to play the game seriously, as the fan was expecting it" Having been ashamed, I became fond of American people more. I still continue the good friendly relation with many Americans, but we all got older.

Soliloquy

Since June this year, JASO organized events with Jazz sessions, as my wish was to introduce American culture through Jazz. This is the reason why quite a few people asked me that I am fond of Jazz. Frankly speaking I don't know so much about music, including Jazz. In other words, I am not able to differentiate one music from another by melody, rhythm, etc. This is maybe natural gift for music. However, the tone of clarinet played in "Petit Fleur", the first record of which was bought by my parents sometimes resound in my ears, while I can't sing. After that, I have been enjoying to listen American Pops, so called Oldies. In my car-audio, you can find various kinds of CDs, not only classic, but also Enka. The best that fit to me recently is Enka, that is expressing the heart of Japanese. Is it because of age?



Invitation: from JASO Members

Mr. Brian E. Williams is planning to open an exhibition of his own works, the details of which is as follows: He is the resident of Japan since 30 years ago. In his exhibition, there are the works of landscape in Japan as well as from foreign countries.

Title of Exhibition

Brian's Eye Far and Near PAINTINGS BY BRIAN WILLIAMS
TAKASHIMAYA DEPT. STORE, OSAKA
November 10th-16th 6th Floor Art Gallery



Contribution rules

Contribution rules on the JASO News Letter

The following are the contribution rules to the JASO News Letter.

1. We would appreciate it, if you would write your manuscript both in English and Japanese.
2. The contributed manuscript will not be returned to you. However, we will return the photographs and illustrations if you wish.
3. Please understand that the JASO Office will judge the selection of the manuscripts among those submitted and also for editing.
4. The manuscript distributed will be in accordance with the aims of the Society, i.e., social, cultural, artistic and international events.
5. Contributors will be awarded gifts, picked by lottery.

◆New members◆

Corporate Members

MIZUNO COPORATION
Executive Vice President
Mizuno Akito

Individual Members

Shimoda Hiroshi
Imada Yasuko
Hatanaka Chiyomi
Ishiyama Katsumasa

Family Members

Shimoda Emiko
Kishida Tomiko
Nishinomiya
Nishinomiya

Notes

It is always possible to produce and edit JASO News Letter, if we could receive co-operation of receiving contributed articles from our members. It was very interesting to know how Mr. Oga became the member of JASO in 1977. He said the start was based on the American's "fair spirit". When I met him for the first time was the Asahi Beer Hall in Umehin, where my wife worked as singing Arbeit. It was also an old story, i.e., middle of 1970. Now he is asking my wife to sing songs at that time. I was amazed to meet him again at one of the events of JASO. (NG)